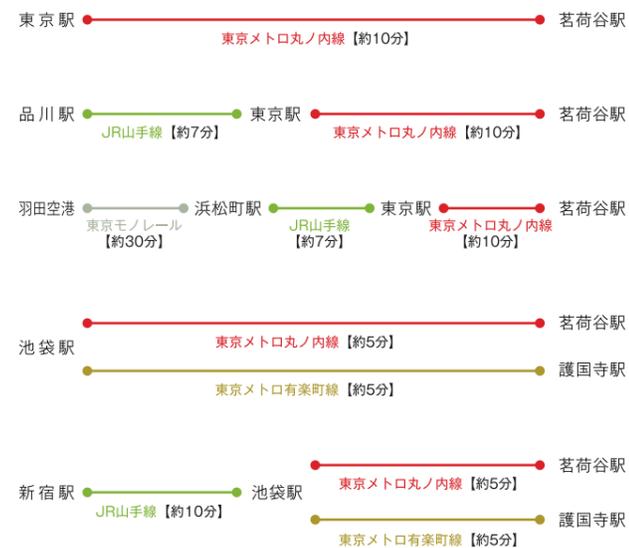


Campus Map

▶ 施設一覧

- | | | | |
|------------------------|--------------|------------------------|---------------|
| 1 大学本館 | 11 情報基盤センター | 21 弓道場 | 31 附属高等学校 |
| 2 大学講堂（德音堂） | 12 附属図書館 | 22 文教育学部2号館 | 32 国際交流留学生プラザ |
| 3 総合研究棟 | 13 学生センター棟 | 23 Student Commons | 33 学生会館 |
| 4 生活科学部本館2 | 14 文教育学部1号館 | 24 課外活動団体談話室 | 34 いずみナーサリー |
| 5 お茶大アカデミック・プロダクション研究棟 | 15 共通講義棟1号館 | 25 人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟 | 35 大塚宿舎 |
| 6 屋外エレベーター棟 | 16 共通講義棟2号館 | 26 茶室（芳香庵） | 36 こども園 |
| 7 ラジオアイソトープ実験センター | 17 共通講義棟3号館 | 27 大学体育館 | |
| 8 理学部1号館 | 18 大学食堂 | 28 附属幼稚園 | |
| 9 理学部2号館 | 19 保健管理センター | 29 附属小学校 | |
| 10 理学部3号館 | 20（学生寮建設予定地） | 30 附属中学校 | |

Access Map



お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科

Graduate School of Humanities and Sciences,
Ochanomizu University

大学院案内



CONTENTS

- 01 CONTENTS
- 02 学長メッセージ・研究科長メッセージ
- 03 「お茶大流」女性人材育成
- 04 研究科組織図
- 05 比較社会文化学専攻
- 07 人間発達科学専攻
- 08 ジェンダー社会科学専攻／ジェンダー学際研究専攻
- 09 ライフサイエンス専攻
- 10 理学専攻
- 11 生活工学共同専攻
- 12 在学生の声
- 13 副専攻プログラム
- 14 キャリア副専攻／共通科目／その他
- 15 奨学金・学費
- 16 研究環境整備
- 17 豊富な研究支援／小石川寮
- 18 利用者・経験者の声
- 19 国際交流
- 20 留学経験者の声
- 21 入試情報

GUIDE BOOK
2021

Graduate School of
Humanities and Sciences,
Ochanomizu University

Messages

新たな価値の創造を目指して

お茶の水女子大学は、1875年11月29日にわが国初の女性のための官立の高等教育機関「東京女子師範学校」として東京・御茶ノ水の地に誕生して以来、144年にわたる女子教育の歴史を刻んで来ました。優れた教育者を育てることを目的とした「女子高等師範学校」、「東京女子高等師範学校」の時代を経て、1949年5月31日に新制の総合大学である「お茶の水女子大学」となりました。そして1963年には大学院修士課程が、1976年には博士課程が設置され、それ以来、高度な研究・教育を担う国立女子大学としての歩みを続けています。大学院では、様々な領域における専門性を深めることは勿論ですが、同時に、分野横断的な視点に立って時代をリードし、また、豊かな感性をもって世界の未来を創出する女性たちの育成に取り組んでいます。

さらに「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」との理念の下、本学で学ぶ全ての女性たちが、多様な文化と異なる価値観や考え方を持つ人々と深く理解しあい、信頼しあって、互いに切磋琢磨しながら、自らを成長させて行くことを願

い、学びたくても学ぶことのできない開発途上国の女性たちをも含めて、国境を越えた女子教育の推進に努めてきました。

本学大学院の修了生は、多種多様な組織・機関に就職し、あるいはさらに上を目指して研鑽の場を求めるなどして、それぞれの場で周囲からの信頼と共感を集め、後輩たちに道を拓いてくれています。

本学では、これまでも独自性の高い多様な教育・研究のプログラムを構築して学術的価値の創造を目指して来ましたが、多様な分野の協働によって新たな学術の地平を拓くことを目指して2016年度に立ち上げた「ヒューマンライフィノベーション開発研究機構」では、人が一生を通じて心身ともに健康で幸せに暮らせる社会の構築に向けて、研究・開発に取り組んでいます。

本学大学院で、真摯に学びの道を極めようと努力する皆さんには、2年間あるいは5年間の学びと自己研鑽を経て、人生の目標に向けて力強く羽ばたいて下さることを、そして世界中の人々の幸せに資する活躍をして下さることを、心から期待しています。



2020年4月
国立大学法人 お茶の水女子大学長
室伏 きみ子

大学院での学びと研究

本学の大学院は21世紀の新しい大学院教育を見据えて改組を行い、2007年4月より旧来の「人間文化研究科」から「人間文化創成科学研究科」となりました。設立当初から学際性を重視し、文理融合をその基本理念としてきましたが、現在の名称が示す通り、その理念がさらに明確になっています。「人間文化創成科学研究科」は全学を統括する大学院組織であり、研究科には博士前期課程と博士後期課程それぞれに、比較社会文化学・人間発達科学・ジェンダー社会科学（ジェンダー学際研究）・ライフサイエンス・理学・生活工学の6つの専攻が設置されています。

大学院では、それぞれの学術分野における先人たちの理論や知見を深く学び、研究を中心として各自の知識を磨き上げ、その分野のエキスパートとなることを目指します。本学の静謐な環境のなかで幸福な人類のあり方を構想し、そのために必要となる知識・情報・技術の創造に向かって、豊かで独創的な研究が日々活発に進められています。大学院での学びと研究を通じて知の力で未来を切り開くことのできる人材となり、社会での幅広い活躍を目指しましょう。



2020年4月
お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科長
菅原 ますみ

「お茶大流」女性人材育成

お茶の水女子大学は世界に通用する俯瞰的視野と独創性に満ちた真の女性リーダー創出を目指す最高水準の研究拠点として、長い歴史の中で培ってきた実績をもとにグローバルに活躍する女性人材を育成します。女性のライフコースを重視しながら、少人数教育の利点を生かし、個々の学生の能力を伸ばし、女性リーダーの誕生を支援します。

学生の多様なキャリアパスを充実させるために、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻（公務員/教員/産学連携）、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供（ワークインプログレス）、また博士課程修了後の研究員制度（リサーチ・フェロー、みがかずば研究員）など、高度専門職業人として社会で活躍することを旨としたサポート体制が充実しています。

お茶の水女子大学大学院の特色

3 キャリアパス

ライフコースに配慮しながら、キャリアパスを提案します。

1 複数指導制

博士前期課程から複数指導制を取り、多様な研究視点の導入を可能にします。

2 学際性・国際性

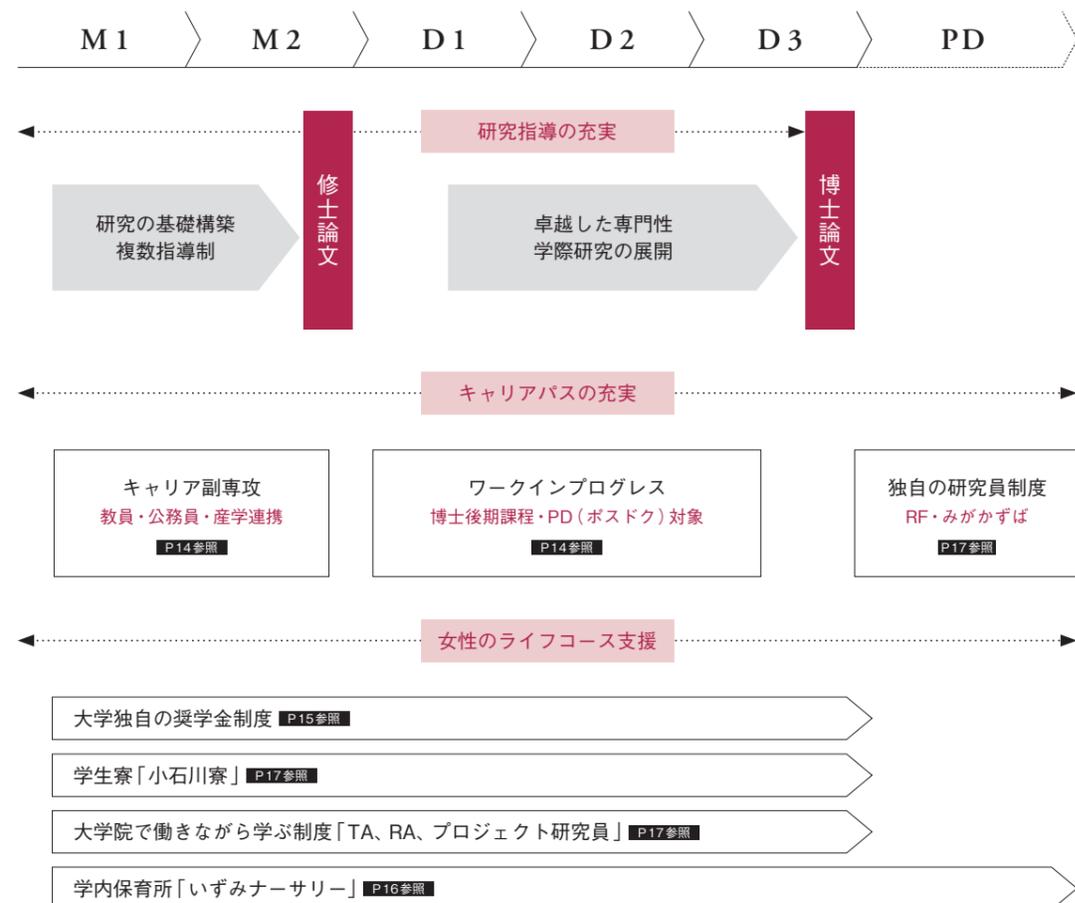
領域横断的思考を育て、グローバル化する社会に柔軟に対応できる能力を育てます。

4 長期履修制度によるサポート

介護、子育て、または就業等、大学院へ通うための十分な時間を確保できない学生向けに、履修期間を延長することで学位取得をサポートします。

5 後期課程からの入学も支援

後期課程からの入学も奨励し、各自の専門性に合わせた指導をします。



人間文化創成科学研究科

博士後期課程																	
専攻名	比較社会文化学専攻				人間発達科学専攻				ジェンダー学際研究専攻	ライフサイエンス専攻	理学専攻			生活工学共同専攻			
定員学	27名				14名				4名	13名	13名			2名			
領域名	国際日本学領域	言語文化論領域	比較社会論領域	表象芸術論領域	教育学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域	ジェンダー論領域	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域	数学領域	物理学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域

領域横断的な進学も可能です

博士前期課程																					
専攻名	比較社会文化学専攻				人間発達科学専攻				ジェンダー社会科学専攻	ライフサイエンス専攻	理学専攻			生活工学共同専攻							
定員学	60名				27名				18名	40名	70名			7名							
コース名	日本語日本文学コース	アジア言語文化学コース	英語圏・仏語圏言語文化学コース	日本語教育コース	思想文化学コース	歴史文化学コース	生活文化学コース	舞踊・表現行動学コース	音楽表現学コース	教育学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース	数学コース	物理学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース

各講座・研究室・教員構成の詳細は
<http://www.dc.ocha.ac.jp/>



研究者情報は
<http://researchers2.ao.ocha.ac.jp/>



◎ 年度別博士前期課程学位授与者数 (過去5年間)

学位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
修士(人文科学)	62	65	66	75	76
修士(社会科学)	37	39	34	38	30
修士(理学)	77	89	76	92	93
修士(生活科学)	30	24	29	24	21
修士(学術)	11	10	3	7	8
修士(生活工学)	-	-	4	9	7
修士(工学)	-	-	3	5	6
計	217	227	215	250	241

◎ 年度別博士後期課程学位授与者数 (過去5年間)

学位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
博士(人文科学)	20	20	14	19	12
博士(社会科学)	7	6	12	10	19
博士(理学)	20	3	11	10	14
博士(生活科学)	3	3	0	2	3
博士(学術)	7	3	9	10	10
博士(生活工学)	-	-	-	-	1
博士(工学)	-	-	-	1	1
計	57	35	46	52	60

※論文博士を含む

比較社会文化学専攻



<http://www.dc.ocha.ac.jp/m/c-cultures/index.html>

比較社会文化学専攻	前期課程	日本語 日本文学 コース	アジア 言語文化学 コース	英語圏・仏語圏 言語文化学 コース	日本語教育 コース	思想文化学 コース	歴史文化学 コース	生活文化学 コース	舞踊・表現 行動学 コース	音楽表現学 コース
	後期課程	国際日本学領域		言語文化論領域		比較社会論領域		表象芸術論領域		

■ 特色

本専攻の研究対象は、社会、文化、言語、芸術など多方面にわたっています。また、日本を中心とする領域もあれば、世界のさまざまな国や地域を対象とする分野もあり、人類の長い過去の学問の蓄積を重視するとともに、現代の文化や社会の変化にも目を向けています。こうして、学術研究において指導的役割を果たす研究者を育成するとともに、社会において高度な専門的知識・技能を發揮できる人材の養成を目的としています。

前期課程は専門分野を少し細かく区切りますが、それは、きめ細かく学生の学問的関心にこたえるためです。後期課程はより大きな括りで再編して4つの領域としています。専門的知識のさらなる深化をはかるとともに、領域横断的な創造的能力を涵養するためです。

[前期課程]

日本語日本文学コース

日本語日本文学コースは、古典文学・近現代文学・日本語学の三分野から構成されています。それぞれが連関しながら、研究に必要な学識と方法が広く深く学べるようカリキュラムが組まれています。

□ 就職先の例

女子学院中学校・高等学校、恵泉女学園中学校・高等学校、静岡県立高等学校、群馬県立高等学校、福井市役所、日本芸術文化振興会、東京都庁、防府市文化振興財団、KDDI総合研究所、乃村工藝社 等

□ 学位論文題目例

『源氏物語』宇治十帖天候論、『俊成卿女集』の研究、芝全文作黄表紙の手法、樋口一葉「にぎりえ」における〈宿世〉のしがらみ、宮沢賢治：修羅のドラマトゥルギー、〈完遂〉を表す複合動詞の通時的研究—「〜トオス」「〜ヌク」「〜スマス」を対象に—、Twitterで用いられる助動詞「たい」のミ形

アジア言語文化学コース

中国語学・文学研究の基礎を築きます。古典から近現代文学、言語学と指導体制は整っています。在学中、中国や台湾の協定校に留学する学生が多く、卒業後は、本学及び他大学の博士後期課程へ進学、あるいは企業等に就職します。

□ 就職先の例

東京都庁、セメント協会、東京貿易ホールディングス、ユニアデックス株式会社

□ 学位論文題目例

老舎とキリスト教—その受容と作品への反映、「俗」への再評価—柳永の艶詞をめぐって、曹丕と曹植—史実と作品をめぐって、一九二〇年代の中国における「雨」の散文観と人生観—周作人「雨天的書」と許地山「空山靈雨」の比較、現代中国語における範圍副詞“只”“光”“僅”に関する考察

英語圏・仏語圏言語文化学コース

英語圏と仏語圏の専修に分かれますが、必要に応じ、各言語圏の交流や比較対照の視点も採り入れて研究を行います。研究分野は文学系と語学系に大別され、各言語の文学・文化及び言語を研究対象とします。

□ 就職先の例

厚生労働省、国会図書館、東京国税局、東京大学職員、福井市役所、静岡県高等学校、学習院女子中・高等科、大妻中学高等学校、講談社、日本電気(NEC)、三井造船システム技研

□ 学位論文題目例

Writing as a Woman: A Study on Mary Shelley's *The Last Man*, Children's Acquisition of Clefts and Sluicing in Japanese, Japanese L1 Cognate Knowledge Use in English Lexical Inferencing, 西洋の喪服の変遷にみる社会と女性の地位の変化、日本の大学におけるフランス語教育と教員研修に関する一研究

日本語教育コース

多様な言語、文化的背景を持つ学習者を理解し、彼らのコミュニケーション能力を向上させるための基盤となる理論や方法、専門性と実践力をもったグローバル社会の日本語教育専門家を育成します。

□ 就職先の例

お茶の水女子大学、首都大学東京、東京大学、岡山大学、獨協大学、早稲田大学、中南大学、釜山外国語大学、タマサート大学、国際交流基金、東京ウエストインターナショナルスクール、専門教育出版

□ 学位論文題目例

多義形容詞「あまい」「からい」の意味推測に関する調査研究：台湾人日本語学習者を対象として、トランス・ランゲージング・スペースが中日バイリンガル高校生の日本語リテラシーにおける学習方略に与える影響—学習態度の変容に焦点を当てて—、日タイ母語場面における謝罪の対照研究—謝罪行動とその反応を中心に—、ライティング訂正フィードバックの効果と情意的要因との関連について—文末スタイル、名詞修飾、活用に着目して—、ベトナム人留学生の教育価値観と日本語教師に対する意識、「第三文化の子ども」の多言語使用と文化に対する認識：日本在住の中国人の子どもの事例を中心に

思想文化学コース

思想文化学コースでは、物事の成り立ちを支える原理や、それについて私たちが抱いている理解を明らかにし、議論の俎上に載せます。現在論じられている問題を、一つ一つ論拠を確かめながら自ら考えたり、過去に書かれた古典の精読を手掛かりに考えたりする訓練を行います。古典の読解では主に西洋の近世から近代の哲学、日本の中世から近世思想のテキストを原典で丁寧に読むことで視野の広い思考力を養います。

□ 就職先の例

静岡大学、文部科学省、神奈川県庁、日本マクドナルド

□ 学位論文題目例

フレーゲ的観点による言語の意味について、病の規範性と治療要請、近世日本における「楽」の研究—貝原益軒を中心に—、『葉隠』における武士の自己像

歴史文化学コース

本コースは、日本史・アジア史・西洋史を柱とする歴史学と、西洋と日本の美術史学によって構成されています。文字資料分析に、造形資料、視覚資料などの幅広い分析を加えて総合した多角的な研究を目指します。研究職を目指す人とともに、社会の場で習得した能力や知見を發揮したいという人を歓迎します。

□ 就職先の例

群馬県、富山県、埼玉県、新聞協会、警視庁、船橋市、下野新聞、お茶の水女子大学、首都大学東京、女子学院、TBS、愛媛県美術館

□ 学位論文題目例

摂関期の源氏に対する一考察、興福寺の延年に関する一考察、江戸幕府における書物方組織と文書管理、1900年パリ万国博覧会における日仏関係、清朝乾隆期の捐納出身重要職官と賀世盛、十九世紀カイロの都市開発、『失楽園』に見る天使のイメージ、中世盛期イングランドの年市におけるケルン商人、19世紀後半フランスにおける「芸術」と「科学」

生活文化学コース

生活文化の諸事象を対象とし、多様な視座のもとで新しい学際研究を試みるコースです。日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどを明らかにする服飾文化研究、工芸を中心とした生活文化を比較文化論の立場から論じる研究、代々受け継がれてきた生活文化を民俗学・文化人類学の立場から論じる研究が中心です。生活文化論を人間理解の途として日本の内外に発信する意欲のある学生を求めます。

□ 就職先の例

東京都、防災科学技術研究所、学校法人京華学園、東京大学、東京都庭園美術館など

□ 学位論文題目例

1880年代におけるリパティ商会のコスチューム部門の設立と衣服の独自性、既製服とそのサイズ規格の普及による消費者の購買行動・購買意識の変容、観光資源としてのアニメ聖地の有用性—埼玉県川越市「神様はじめました」を題材に、文化の大衆化に関する一考察：明治時代から昭和初期の茶の湯と三越呉服店の関係を事例として

舞踊・表現行動学コース

舞踊・スポーツなどの身体表現運動について、芸術学、民族学、教育学、身体運動科学などの分野から学際的に教育・研究を行います。特に舞踊教育、舞踊芸術、民族舞踊、動作学、スポーツマネジメントといった研究領域が中心です。舞踊やスポーツの実践をふまえ、理論的、科学的知見を十分に修得した専門的人材の育成を目指します。本コースを志望するものは、修士論文作成のために十分な外国語の能力と専門知識が必要です。

□ 就職先の例

企業一般職及び総合職、中高校教員、短大等の講師、舞踊教師・上演者など

□ 学位論文題目例

中学生のダンスに対するジェンダー・イメージ、ルーマニアのハンガリー民族居住地における民俗舞踊の伝承—カロタセグ地方の民俗舞踊活動を事例として—、コンテンポラリーダンスにみられるスイング動作の運動特性—印象評価との関連から—、ソーシャル・エンゲイジド・アートに期待されるダンス・アーティストの役割

音楽表現学コース

本コースは音楽学と演奏学の二つの専攻からなり、後者はピアノまたは声楽を専門とします。修士論文は西洋音楽や民族音楽の枠を越えた新しい知見を切り拓くことを目指し、演奏の専門性も高いレベルを要求しています。また、両専攻とも英語の専門文献を読解するだけの語学力を必要としています。

□ 就職先の例

音楽科教員、神戸市、日本伝統文化財団など

□ 学位論文題目例

戦後の音楽学におけるcriticismをめぐる議論について—J.カーマンを中心に—、放送局専属合唱団の研究—東京放送合唱団の活動を中心に—

[後期課程]

国際日本学領域

日本に関するそれぞれの専門分野において高度な研究を進めるとともに、関心を学際的に広げ、総合学としての日本学を国際的視野のなかで研究し、世界に発信する人材の養成を目指しています。

□ 学位論文題目例

言語少数派の子どもの生活体験を基盤とする概念発達の様相
寺山修司の演劇媒体を通した制度解体
日本の対中経済進出と居留地経営政策

言語文化論領域

アジア、欧米を中心とする各国文学・言語学・言語教育学について高度な研究を行います。また領域横断的な研究視点を採り入れ、文学・文化の研究における新たな知見を国際的に発信する能力を養います。

□ 学位論文題目例

文学史上における阮籍「詠懐詩」の位置、“半山”作家林海音の主婦像、郁達夫小説に見られる西洋への憧憬
Henry James on Ethical Questions in the Process of Globalization Person in Partial Control
近代フランスの食文化とガストロノミーをめぐる考察—「美食のフランス」(1921-1927)を中心に—

比較社会論領域

哲学思想・歴史からスポーツまでを対象に、世界の諸地域を比較横断する研究・教育を推進し、過去思想・歴史を踏まえつつ、現代社会が要請する新しい人文科学の創成に寄与する人材の育成に努めます。

□ 学位論文題目例

16世紀前半スペインの対イングランド外交交渉—ウスタシュ・シャビュイ大使を中心に—

表象芸術論領域

本領域は、美術・工芸・服飾・舞踊・音楽を主な対象とし、文化表象・表現を多方面から専門的かつ横断的に分析・追究する領域です。人間理解や国際協力の媒介として表象芸術論を展開する学生を求めています。

□ 学位論文題目例

日本のピアノの普及に関する研究—三木楽器の帳簿(1902—1940)の分析にもとづいて、踊ることによって生成される身体—その様相と構築過程—

人間発達科学専攻



http://www.dc.ocha.ac.jp/m/human/index.html

人間発達科学専攻	前期課程	教育科学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース
	後期課程	教育科学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域

■ 特色

社会的かつ個人的存在としての人間と、その発達過程を対象として、多様なコース／領域を設け、学際的、応用的にアプローチし、高度な女性研究者、職業人を育成します。博士前期課程から博士後期課程まで一貫した教育指導を保持し、特に後期課程ではステージ制により、博士号取得に向けた系統的な教育を行っています。

教育科学コース／領域

教育思想、教育史、教育社会学、教育開発論、教育方法・課程論等、教育学の諸領域を、研究することができます。進学はもちろん教員志望や社会人学び直し等、多様な研究機会を提供しています。

□ 就職先の例

<前期>東京都庁、国立大学事務職員、家庭裁判所調査官、公立小学校教諭、私立中・高等学校教諭 <後期>大学常勤職(金沢大学、東京学芸大学、専修大学、東京家政大学、聖徳大学、南九州大学)

□ 学位論文題目例

<前期>教育資源の公正な分配原則に関する考察、バングラディッシュの初等教育における地域間格差、青島の学校における日本語教育—第二次日本占領期を中心に— <後期>占領下沖縄における社会科成立史研究、高校就職指導の教育社会学的研究、学力と学習意欲の階層間格差—ケニアの初等教育を事例として—

心理学コース／領域

心理学の先端的研究を学び、認知、発達、社会、教育、臨床の専任教員が指導し、各専門領域について、高度で広範囲な研究方法論や知識を獲得できます。人間の心理メカニズムを、発達という時間軸、社会という空間軸のなかで、多角的・総合的に検討し理解する人材を育成します。

□ 就職先の例

<前期>公務員(法務省、家庭裁判所調査官補、東京都心理職)、一般民間企業(バンダイナムコ、小松製作所など) <後期>大学常勤職(山梨大学、千葉大学、青山学院大学、放送大学)、一般民間企業(NHKエデュケーション、NTT Communication、横浜銀行)、公務員(法務省)

□ 学位論文題目例

<前期>クロスモーダルの再認とプライミング、説得的な談話の生成—論理力を育成する言語表現法教育—、日本人女性における女性雑誌広告とボディイメージの関連—内面化・社会的比較傾向を通して— <後期>子どもはどのように他者を理解しているのか—パーソナリティ特性推論の発達過程—、児童・思春期の抑うつ傾向の遺伝と環境—心理社会的要因との関連を巡って—

発達臨床心理学コース／領域

教員は、病院、学校、司法、産業などの領域において心理臨床と研究に携わってきた研究者・実践家であり、科学的視点と臨床的視点を組み合わせた訓練を受けることが可能です。前期課程は、臨床心理士資格認定協会の第1種指定校であり、公認心理師受験資格にも対応しています。後期課程の学生は、実践指向的な研究に取り組み、心理臨床実践と研究を両立し、科学者・実践家としてのコンピテンシーを獲得します。

□ 就職先の例

<前期>公務員(家庭裁判所調査官補、法務省心理技官、都道府県の心理職)、公立・私立病院等の心理職、公立・私立のスクールカウンセラー、教育相談所 <後期>大学常勤職(佐賀大学、山梨大学、茨城大学、京都文教大学、東京福祉大学)、公務員(警視庁心理職、法務省心理技官)

□ 学位論文題目例

<前期>「自閉症スペクトラム障害と性別違和はどのように併存しているのか—当事者たちの「自分史」に注目して—」「子どもの攻撃にまつわる初心者セラピストの体験プロセス」「発達障害児の母親の養育を通じた内的な変化—エンパワメントの視点から—」 <後期>文学教材を通じた感情体験の探究—小中学生用文学読書体験尺度の作成と仮説モデルの生成—、「母親になる」体験をとおした女性心理臨床家の職業的発達—妊娠、出産、子育ての体験と臨床活動の交差—

応用社会学コース／社会学・社会政策領域

現代社会の諸問題(コミュニケーション、メディア、ジェンダー、地域、家族、福祉、医療など)について、社会学を中心に社会科学の理論と方法によって解明し、実践的解決策の提案へ繋がります。

□ 就職先の例

<前期>法務省、外務省、東京都庁、労働金庫、スルガ銀行、講談社、日本赤十字 <後期>首都大学東京、関西大学、東洋大学、和歌山大学、日本大学、龍谷大学、日本社会事業大学、慶南大学(韓国)

□ 学位論文題目例

<前期>「障害者役割」に関する考察、自然葬と死者供養、外国人労働者と日本の社会保障制度、カウンセリングの社会的構築 <後期>レズビアン・ゲイ・バイセクシャル「家族」の質的研究、外見をめぐる問題経験の社会学的考察、高齢者介護政策の転換と家族介護への現金支払い、日本の医療分野の賠償訴訟にみられる積極的司法とその影響

保育・児童学コース／領域

発達心理学、教育学、保育学、社会学など多様な境界領域から保育・児童学を研究する教員を配置し、テーマの焦点化、研究方法論の検討プロセスを重視しながら研究室を決めています。社会人入学者が多いのも特徴です。

□ 就職先の例

<前期>短大講師、幼稚園教諭、一般企業、教員 <後期>大学教員、短大講師、従来の教職に戻る

□ 学位論文題目例

<前期>統合保育において自閉症児が活動にかかわる過程、保育者賃金の規定要因としての社会・経済状況とジェンダー、日本の保育における片付け観の歴史の変遷、北欧のいじめ対策—フィンランド、ノルウェーのいじめ対策プログラムといじめ対策法— <後期>授業空間としてのホームの発見と可能性—小学校家庭科における実践記録再読を通して—、子育てをめぐる公的領域と私的領域の再編のポリティクス—預かり保育に関する意味づけの分析を中心に—

ジェンダー社会科学専攻



http://www.dc.ocha.ac.jp/m/gender/

ジェンダー社会科学専攻	前期課程	
ジェンダー学際研究専攻	後期課程	ジェンダー論領域

■ 特色 [博士前期課程:ジェンダー社会科学専攻]

ジェンダー視点を手がかりとして、既成の学問体系とその所産を反省的に見直し、女性・家族・地域・国家などにかかわる諸現象をグローバルな視野のもとで学際的に解明する分析力、生活の場で直面する具体的課題から出発してその解決に向けて提案する実践力の涵養を目指します。

●ジェンダー研究科目群=ジェンダー研究の基礎から最先端までをカバーする多彩な科目群。ジェンダー論を集中的に学び、社会や文化の諸問題に対する批判的な思考力を磨くことを目指します。さらに、より高度なジェンダー研究へと進む経路ともなります。

●専門科目群=地理学、人類学、地域研究、開発学、法学、政治学、経済学、社会学などの各学問分野における専門的科目群。個別ディシプリンを基礎から発展のレベルまで体系的に修得するためのカリキュラムです。

●学際方法論科目群=視野を広げ、方法論を磨く科目群。分野の異なる複数教員による学際共同演習や調査法(量的、質的、フィールドワーク等)に関するコースワークなどを提供します。研究を進める前提として、広角の視野と厳密な方法を身につけてもらうことが目的です。

この3つの科目群から、各自のテーマ等に応じて様々なパターンで科目選択ができます。また、国内外のジェンダー研究の拠点や海外協定校、UNDPなど国際機関とも連携して多彩なカリキュラムを提供します。本学出身者はもちろん、多くの留学生・他大学出身者・社会人院生が切磋琢磨して学んでいる専攻です。

□ カリキュラムの構成

	ジェンダー研究(問題)	専門科目(体系)	学際方法論(方法)
選択	セクシュアリティ論 男女共同参画社会論研究 社会保障とジェンダー ジェンダー統計論演習など	各学問分野を体系的に修得するための専門科目群	ジェンダー学際共同演習 I~IV
選択必修	ジェンダー立法過程論 ガバナンスとジェンダー		研究方法論コースワーク(量的、質的、フィールドワークから選択)
必修	ジェンダー基礎論		ジェンダー社会科学論
特別研究(修士論文)			

□ 修士論文題目例

タイにおける女性のエンパワメントとNGOの役割—暴力撤廃に取り組むNGOを事例として—、マレーシア観光業に従事する現地採用日本人女性の労働と生活—労働過程と国際移動の視点から—、米国における日本人の父親の家事・育児役割意識—渡米前後の二時点調査から—、「チャイ(chay)」から見るウイグル族社会の日常生活文化とその変容—「第三の場所」と社会関係資本の視点から—、求職者支援訓練における現状と課題—ジェンダー視点からみた受講者の訓練実態—、グローバル都市におけるエスニック空間の多様性—東京圏に在住するバングラデッシュ人を事例として—、アンカラの都市開発とゲジェコンドゥ住民—都市空間・場所をめぐる表象と交渉—、男性が介護する/看取るということ、インドにおける「ジェンダーと開発」と自助グループの役割—政府主導の取り組みとSEWAの事例から—、横浜華僑社会におけるジェンダー規範とエスニック・アイデンティティの変容

ジェンダー学際研究専攻



http://www.dc.ocha.ac.jp/d/gender/

■ 特色 [博士後期課程:ジェンダー学際研究専攻]

本専攻はジェンダー研究教育の拠点形成として2005年4月に設立されました。博士後期課程において学際研究の視点からジェンダー研究の確立・重点化をはかる日本で初めての専攻です。専攻の教員は、それぞれの学問領域を土台に現代の社会的課題を分析する授業内容を提供しています。これまでの修士生の博士論文はジェンダー視点から既存の学問分野に新たな視野を提示した事が評価され、ジェンダー法学会賞、女性史学賞、人文地理学会賞、経済地理学会賞、山川菊栄賞、日本人口学会優秀論文賞等を受賞しています。

□ 博士論文題目例

冷戦初期における日系アメリカ人の朝鮮戦争従軍経験—ジェンダーとエスニシティの視座から、同性婚をめぐる法的議論における婚姻概念の変容—アメリカとカナダの事例を中心に、ひとり親の父の役割遂行における資源と葛藤—アイデンティティ理論のアプローチから、「おんなのこ」として性風俗世界に生きる—ある東京の無店舗型SMクラブを通して見た都市的“性”様式に関する研究、女性医師M.P.ジャコビーの月経成因論の—考察—19世紀後半米国における科学知のジェンダー・バイアスをめぐって、河田嗣郎の男女平等思想とジェンダー、子ども時代の貧困経験が人的資本形成に及ぼす影響—貧困の世代間連鎖の実証分析、農村に移住する若い女性と身体化される「場所」—福島県昭和村からむし織体験生「織姫」の語りから、学歴ミスマッチと大卒女性の就業に関する実証分析—日本とオランダの比較を通して—、現代日本における望ましい父親像の構築:雑誌・ソーシャルメディアの〈父〉言説の形成と受容、未就学児を持つ母親のICT利用と生活充実感—日本と韓国・米国・スウェーデンの比較から—、現代中国の高度成長とジェンダー—農婦女問題の分析を中心に

□ 両専攻のキャリアパスと進路

◆博士前期課程→就職(家庭裁判所調査官、内閣府、総務省、国立国会図書館、長野県庁、横浜市、短大専任講師、高校教員、海外協力隊、リクルートマネージメントソリューションズ、ソニー、日本経済新聞社、時事通信社、富士通総研、日本総研、大和総研、リンクアンドモチベーションなど)

◆博士前期課程→本学後期課程進学→就職
大学教員等(茨城大学・岩手大学・立教大学・横浜国立大学・実践女子大学・福岡女子大学・天理大学・神戸学院大学・松本大学・帝京平成大学・ノッティンガム大学の教員、国立社会保障・人口問題研究所研究員など)

◆博士前期課程→他大学後期課程進学(東京大学・一橋大学・ロンドン大学など)

◆他大学博士前期課程→本学博士後期課程→就職
大学教員等(東京外国語大学・日本大学・アモイ大学・フランクフルト大学・メキシコ国立自治大学・奈良教育大学・法政大学の教員、国立女性教育会館専門員など)

ライフサイエンス専攻



http://www.dc.ocha.ac.jp/m/life/index.html

ライフサイエンス専攻	前期課程	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース
	後期課程	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域

■ 特色

英語の Life は、生命だけでなく生活や人生をも含む言葉です。ライフサイエンス専攻では、この広義の Life を教育します。生命の基本的な仕組みを探究する科学、それを現実の生活に役立てる科学、両者を分離せずに両輪として研究します。本専攻には次の各コース／領域の他に、副専攻プログラムとしてグローバル理工学、コア・サイエンス・ティーチャー、SHOKUIKU があります。

生命科学コース／領域

変動する環境の中で生きる生物の真の姿を理解するために、生物の普遍性と多様性の両面を対象として、遺伝子・ゲノム・生体分子・細胞・個体といったさまざまなレベルで基礎研究を行っています。前期課程では、大学院授業の受講と研究に携わることで、生命科学を含む幅広い分野での研究・開発の推進者として社会で活躍できる力を養います。後期課程では自ら研究を構築し、生命科学の創造者として活躍できる力を身に付けます。修士論文では「マウス小脳顆粒前駆細胞における $\alpha\beta5$ インテグリンの機能解析」「生物発光に関するタンパク質の分子進化解析」「ミドリシサンゴ幼生からのサンゴ種苗生産の効率化」「微細藻類における高度不飽和脂肪酸合成系の解析」、博士論文では「卵巣内における Serum- and glucocorticoid-regulated kinase (SGK) による細胞内 pH 上昇と cyclin B-Cdk1 活性化を介したヒトデ卵第一減数分裂の制御機構」などの研究を行っています。

食品栄養科学コース／領域

食物を美味しく食べる方法や、生活習慣病の予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目指し、食物や栄養に関する基礎的研究から応用開発や臨床対応までできる食物と栄養のスペシャリストを育て、大学教員や食品企業の研究者や開発者、管理栄養士のリーダーを育成することを目的としています。食品の機能、嗜好性、安全性、健康や疾病と食品の関連などを有機化学、生化学、分子・細胞生物学、統計疫学などの手法を駆使して、教育・研究を行っています。修士論文では「栄養成分表示の活用に向けた食態度及び食環境の検討」「豆類及びその発酵食品に含まれる糖類の生理機能性に関する研究」「ケルセチン配糖体の生理機能性に関する研究」「加熱したタマネギに含まれる 3-mercapto-2-methylpentanol の生成に関する研究」などの研究を行っています。

遺伝カウンセリングコース／領域

遺伝カウンセリングは、疾患の遺伝学的関与について、その医学的影響、心理学的影響、及び家族への影響を、人々が理解し適応していくことを助けるプロセスです。情報提供と心理支援の両者から構成され、疾患の発生及び再発率の評価のための家族歴及び病歴の解析、遺伝医学や福祉に関する教育、来談者が十分な情報を得て理解した上での自立的選択や来談者のリスクや状況への適応を促進するためのカウンセリングが含ま

れます。当コース／領域では、広汎な分野で活躍できる優れた遺伝カウンセラーの専門教育と、遺伝カウンセリングに関わるさまざまな分野の研究と臨床的実践を行っています。また、博士後期課程では、遺伝カウンセリングの指導者育成を行います。

□ 就職先の例

【博士前期課程】ライオン、花王、JT、白元、ワコール、大塚製薬、日本食品分析センター、明治製菓、キッコーマン、日清製粉、アステラス製薬、旭硝子、タニタ、本田技研工業、共同印刷、TOTO、住宅金融公庫、鹿島建設、日立製作所、みずほ総合研究所、野村総合研究所、日本総合研究所、読売新聞、日本IBM、富士通、新日鉄ソリューションズ、JR東日本、NECソフト、パナソニック、キユーピー、高砂香料、NTTドコモ、NTT東日本、公立高校、私立高校、農林水産省、東京都庁、味の素ゼネラルフーズ、東京ガス、ヤマサしょうゆ、オリエンタルランド、佐藤製薬、オリンパス、神奈川県立大学 等

【博士後期課程】お茶の水女子大学、秋田大学、筑波大学、東京大学、千葉大学、金沢大学、名古屋大学、京都大学、首都大学東京、順天堂大学、日本医科大学、北里大学、University of Tennessee、Brown University、公立中学、私立高校、理化学研究所、産業技術総合研究所、国立医薬品食品衛生研究所、東京都医学総合研究所、東京都健康長寿医療センター、放射線医学総合研究所、JAXA、国立精神・神経医療研究センター、農研機構食品総合研究所、国立がん研究センター、特許庁、科学技術振興機構、経済産業省、東京都、佐藤製薬、大塚製薬、エーザイ、ファンケル、ノバルティスファーマ、LSIメディエンス、日本IBM、厚生労働省、東京家政学院大学、日本大学、名古屋学芸大学 等

理学専攻



http://www.dc.ocha.ac.jp/m/sci/index.html

理学専攻	前期課程	数学コース	物理学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース
	後期課程	数学領域	物理学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域

■ 専攻の目的 [博士前期課程]

日本は、若年層の割合が減り、高齢化社会が急速に始まり、若者が社会を支える時代となりつつあります。これからも日本に求められている役割は、自然科学・応用科学に関わる研究と開発です。これは、高い専門知識を基礎としており、実際の社会に役立つ技術にも結びついています。科学の諸分野で研究と開発に携わる女性の力が求められています。理学専攻は、数学、物理、化学・生物化学、情報科学の分野において高い専門的知識と基礎的な広い分野の知識を身につけ、自分で考える創造力のある学生を育成することを目的とします。そして、女性の活躍が期待されるテクノロジーの分野で要求される高く広い知識を備えた人を育てます。社会に進出して、活躍する女性のライフコースを重視して、それに役立つような教育と研究をサポートします。

■ 専攻の目的 [博士後期課程]

現代の科学分野は、境界領域、学際領域に大きな進展が見られます。理学博士の果たす役割は、自然科学・応用科学に関わる研究と開発の中で、今まで以上に重要性が増しています。高度専門職業人の養成のニーズを踏まえ、専門知識を幅広く組み合わせることによって高い応用力を養っていく教育を行い、それまでの限られた専門分野から新しい分野に進出できる幅広い知識を持った研究者を育てます。境界領域、学際領域で貢献できるように、多くの異なる分野の人と協力して研究を進め、ターゲットを見つける能力を育成します。また、家庭と仕事を両立させる女性のライフコースを視野に入れて、研究活動を支援します。

□ 学位論文題目例

<数学コース／領域>

- ・計算量と乱数性から見た暗号の評価
- ・Mordell-Weil 群の計算について
- ・楕円曲線暗号と変換
- ・合同数問題とウェイト 3/2 の保型形式について
- ・作用素単調性と作用素 log 凸関数の関係性について
- ・距離空間における作用素半群とその応用
- ・ロホリンの定理について
- ・KNOT FLOER HOMOLOGY について
- ・代数体におけるユークリッド性について

<物理学コース／領域>

- ・空間的制約により押しつぶされたバブルのダイナミクス (2018年、博士)
- ・カルーツァ＝クライン・グラビトンの現象論的研究 (2018年、博士)
- ・量子テレポーテーションにおける干渉性、忠実度、相関 (2018年、修士)
- ・LAMMPS を用いたトポロジカル高分子の分子動力学シミュレーション (2018年、修士)
- ・非対称構造を持つ単層遷移金属ダイカルコゲナイドの電子状態 (2018年、修士)
- ・中性子散乱法を用いた Tb_xY_{1-x}Ni₂B₂C の超伝導と強磁性の共存に関する研究 (2017年、修士)
- ・HL-LHC に向けた ATLAS 実験シリコンストリップ型検出器の読み出しエレクトロニクス開発及び性能評価 (2017年、修士)

<化学・生物化学コース／領域>

- ・キラルゲストとの相互作用を目指した芳香族アミドオリゴマーの創製 (2017年度、修士)
- ・Cp*Irノルボルネン錯体におけるレトロ Diels-Alder 反応に関する量子化学的研究 (2017年度、修士)
- ・アネキシンによる血液凝固内因経路の阻害とその活性部位の探索 (2017年度、修士)
- ・テトラアルキルアンモニウム塩を用いる立体選択的光環化反応 (2016年度、修士)
- ・シリコン単結晶基板への電気化学的リチウム挿入/脱離過程の追跡 (2015年度、博士)
- ・芳香族化合物の光ペルフルオロアルキル化反応による含フッ素化合物の合成と構造 (2015年度、博士)

<情報科学コース／領域>

- ・Time-series Visualization Adopting Overview and Summarization (2015年度、博士)
- ・Evaluation on Lifelog Analysis Application based on Data Quality Evaluation Framework and Proposal of Practical Realization Cloud Environment (2015年度、博士)
- ・リアルタイムデータアクセス処理機構の最適化 (2015年度、博士)
- ・詳細制御を適用した複合型時系列データの可視化 (2015年度、博士)
- ・多次元属性値可視化による対話的メディアコンテンツインタフェース (2017年度、博士)
- ・Theoretical study on ordering of polarity and oscillation in cell populations (2017年度、博士)
- ・静電容量方式タッチサーフェス上の実物体と手指動作を用いたインタラクション拡張 (2018年度、博士)
- ・Abstracting Control with Dependent Types (2018年度、博士)

□ 就職先の例

【博士前期課程】ソニー、東芝、パナソニック、日立製作所、三菱電機、トヨタ自動車、本田技研工業、日産自動車、マツダ、キャノン、ニコン、コニカミノルタ、オリンパス、リコー、JR東日本、JR東海、JR西日本、日本電信電話 (NTT 研)、NTTドコモ、NTT東日本、NTTソフトウエア、NTTデータ、KDDI、ソフトバンク、日本電気、富士通、富士ゼロックス、日本アイ・ビー・エム、日本ユニシス、マイクロソフト、シスコシステムズ、グーグル、ヤフー、楽天、ドワンゴ、リクルートホールディングス、野村総合研究所、日本総合研究所、アクセンチュア、みずほ総合研究所、セントラル硝子、富士フィルム、ブリヂストン、三菱ガス化学、三菱レイヨン、中外製薬、日本製薬、明治製菓、アステラス製薬、島津製作所、東レ、東ソー、大日本印刷、凸版印刷、NHK、技術評論社、セガトイズ、バンダイ、日本銀行、三菱東京UFJ銀行、北陸銀行、ゴールドマン・サックス証券、中部電力、日本原子力研究開発機構、花王、ライオン、カプール医科大学、カブール大学、バンドン工科大学、特許庁、統計センター、市原市、埼玉県公立中学校、公立私立中学・高等学校

【博士後期課程】東芝、第一三共製薬、三菱レイヨン、みずほ総合研究所、お茶の水女子大学、東京大学、京都大学、九州大学、東北大学、筑波大学、東京農工大学、山梨大学、和歌山大学、奈良女子大学、愛知学院大学、獨協医科大学、国立情報学研究所、理化学研究所、原子力規制庁、海洋研究開発機構、日本学術振興会特別研究員、文部科学省

生活工学共同専攻（前期課程／後期課程）



<http://www.dc.ocha.ac.jp/m/hce/index.html>

現在、理工系女性人材は極めて不足しており、高度な理工系専門知識を有する女性人材の育成が課題となっています。とりわけ、生活者の視点をもった女性研究者・技術者の育成・活躍は、今後の日本の産業界を支える活力源となり得ると言えます。生活工学共同専攻では、工学諸分野の基礎から応用まで幅広く理解した上で、人間生活における諸課題を柔軟に捉え研究する能力を有する女性人材の育成を目的とします。

※本専攻では奈良女子大学と互いに教育研究資源を有効活用しつつ共同で教育プログラムを運営します。それにより、質の高い教育研究を提供するとともに、新たな学際的・先端的領域への先導的な対応を目指します。

■ 生活工学 Human Centered Engineering

近年、社会整備が進んだ国々では、従来焦点が当てられてこなかった子どもや女性、高齢者、障害者などに対し、技術の目が向きつつあります。しかしこれまで工学が対象としてこなかったユーザーに対しては、重厚長大を旨とする工学手法は、必ずしも有効とは限りません。これからの工学では、あらゆる人を視野に捉え、どこでも誰にでも使える技術が必要とされます。すべての人々が質の高い暮らしを送ることができることをめざす工学、これが「生活工学」です。生活する人の視点から技術を捉えなおし、新しい価値を創造し、人と暮らしを中心としたものづくりを実践します。科学技術にライフスタイルを合わせるのではなく、ライフスタイルを含めた科学技術のあり方を創造します。

■ 求める人材

人間と生活環境に関わる現実の諸課題に強い関心があり、生活工学的観点から課題解決に取り組む意欲・能力をもつとともに、研究成果の提案・還元を通じて社会に貢献する高い志を有する人材を育成します。この考えのもと、前期課程では、理工学系、生活系等の4年制大学の卒業生、学士の学位を持つ社会人などを求めます。博士後期課程では、本共同専攻修了者、他大学院関連分野の博士前期課程修了者、並びに修士の学位（またはそれと同等以上の学力）をもつ社会人を求めます。とくに博士後期課程には社会人を積極的に受入れます。女性のライフイベントに配慮した長期履修制度を設けています。

■ 研究指導体制・修了要件

主指導教員ならびに副指導教員を配置します。副指導教員には奈良女子大学の教員を含めます。両教員が協力し研究・履修指導を行います。東西に位置する両大学の地の利を生かしながら、社会・文化・歴史的背景の異なる首都と古都で生活と技術の問題を考えることで視野が広がり、今日の生活上の様々な問題についてより深く理解できるようになることも本共同専攻の特徴です。双方向遠隔TV会議システムを活用した講義や長期休業期間の集中講義などにより授業履修を支援します。取得可能な学位は、修士、博士とも、生活工学、工学または学術です。

■ カリキュラムの特徴

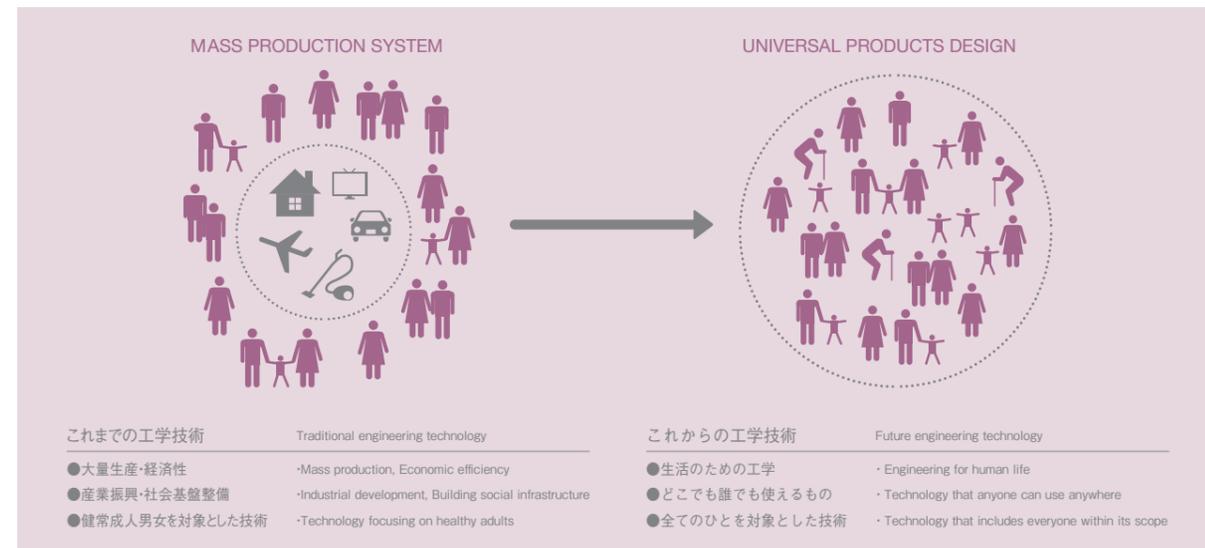
分野を超えたコラボレーションによる総合的な解決策の確立が本専攻の特徴です。そのために、生活工学デザインワークショップ(LIDEE, Life Innovation by Design & Engineering Education)を設け、生活関連課題の工学的解決のための融合的手法を修得します。また、倫理・知財についても学びます。

■ 想定される進路

前期課程では、生活関連の理工系企業の製品開発者、公務員、教員など、後期課程では、研究機関や企業の中核的研究者・グローバルリーダー、大学教員などです。

■ 生活工学研究テーマ例

- <前期課程>
- UV-LEDによる病原微生物の消毒処理
 - 化学的消臭機能を持つ繊維の開発
 - 足底剪断応力に基づく歩行評価に関する研究
 - 室内暑熱環境における温度感覚および調整行動
 - 子どもを対象とする建築デザイン教育を目的とした、おもちゃ・遊びの調査と提案
 - 下水汚泥固形燃料化システムを対象とした熱収支解析モデルの開発と大都市下水処理場への適用
 - 複雑な視覚情報存在下における看板の誘目性に関する研究
- <後期課程>
- 雨水の家庭用水利用の有効性と住民の受容性
 - 足底圧計測デバイスによる身体活動量計測システム開発
 - 都市生活者の生活充実からみた交通結節点の価値の現代的な再定義



在学生の声



人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻
生活文化学コース
博士前期課程1年
三宅 真未

本専攻では、社会・生活文化などを研究対象として扱い、多様な視点からアプローチしていきます。私は服飾史の観点から、レースの使用を通じて各時代における女性像について捉え直すことを目的として研究を続けています。丁寧に指導くださる先生方のおかげで、より専門的で密度の濃い授業を受けることができ、そこで得られる新たな知識や発見は自身の研究への励みにもつながっています。



人間文化創成科学研究科
人間発達科学専攻
教育科学コース
博士前期課程1年
西村 志乃

私は、書写書道教育について研究しています。教育科学コースでは、博士後期課程の先輩方と一緒に学ぶ機会も多いため、幅広い分野の知識を深めることができ、研究についてのアドバイスをいただくこともできます。また、修士論文執筆のための構想会が毎年2回ほど設けられているため、先生方の丁寧なご指導の下、目的を明確にしながら、段階的に研究を進めていくことができます。



人間文化創成科学研究科
ジェンダー学際研究専攻
ジェンダー論領域
博士後期課程1年
奥田 純子

教員として仕事をしながら、学校教育と女性のキャリアに関する研究をしています。仕事をしながらでも、先生方には柔軟に対応していただき、刺激的なゼミ生に囲まれて充実した研究生生活を送ることができています。また、社会人学生として、仕事と家庭と研究を両立して頑張っている先輩方の存在はとても励みになります。何歳になっても挑戦できる、そんな環境がここにはあります。



人間文化創成科学研究科
ライフサイエンス専攻
生命科学領域
博士後期課程1年
中島 麻里

私は脳損傷における生理活性脂質の役割について研究しています。先生や共同研究者との距離が近いので、実験技術はもちろんのこと、日頃の考えをすぐにディスカッションすることができ、思考を現実化しやすいところが魅力であると感じています。幼い頃描いた「なぜ」という疑問を自分で解決していくことができる環境であり、学ぶ意欲に満ち溢れた仲間と日々楽しい研究生生活を送っています。



人間文化創成科学研究科
理学専攻
物理科学領域
博士後期課程2年
野澤 恵理花

研究室の自由かつ柔軟な気風の下、私は、食物連鎖や天体形成、生クリームからバターへの転相現象をシンプルな仕組みで再現するコンピュータシミュレーションに挑戦しています。先生方の熱心なご指導を賜り、これまで、現象の適切な近似によるモデル構築を進めてきました。今後、シミュレーションを通して得られた普遍的な知見を活かし、それぞれの研究を学際的に発展させていきたいです。



人間文化創成科学研究科
生活工学共同専攻
博士前期課程2年
嶋岡 千紘

私は建築学を専攻しています。研究では、他の研究室の先生や、奈良女子大学の先生にもご指導いただく機会があります。行き詰まったときには他の研究領域の先生を頼って解決の糸口を探ります。一対一で履修計画の相談に乗っていただくこともあります。念願だった留学をして、一年間ドイツで建築を学ぶことができました。人の生活に理解を深めて課題解決のために自由に研究できる環境です。

※学生の学年は2020年3月現在

副専攻プログラム

大学院では専門性を深めることはもちろんですが、同時に視野を広げることも重視しています。そのために、各専攻の専門教育の充実を図るだけでなく、領域横断的な副専攻プログラムを設けています。

■ 男女共同参画リソース・プログラム

男女共同参画アドバイザーや各地の男女共同参画センター及び女性センターの専門員や管理職、JICAなどの国際機関の女性に関わる案件の専門家など実務家育成を目的としています。さらに、研究者であれば、大学及び研究機関での男女共同参画やセクシュアル・ハラスメントに関する見識のある人材を、文化マネジメント専従の専門家に対しては、ジェンダー視点からのアイデアによる企画展示ができる人材を、そして企業においては、広く人事・キャリア形成のアドバイザーや男女共同参画の視点で製品・サービスの研究・開発ができる人材を育成することを目指しています。

■ コア・サイエンス・ティーチャー(CST)プログラム

CST副専攻では、小学校及び中学校の理科に熟達し、児童生徒の観察・実験の指導や自由研究の指導、そして地域の教育資源等を生かした教材開発、さらには教員研修を実施できる総合的な理系人材を養成します。そのために、科学教育特別研究、科学教育基礎、科学教育I・II、科学教育教材研究、サイエンス・コミュニケーション論の6科目(博士前・後期課程共通)とCST総合研究(博士後期課程のみ)を開講します。なおこれらの授業は、小学校と中学校理科の接続や、豊富な実験実習や先端的なトピックスを含みます。

■ グローバル理工学副専攻プログラム

「みがかずば」の精神に基づきイノベーションを創出し続ける理工系グローバルリーダーの育成

本プログラムは、ライフサイエンス専攻または理学専攻の各コースの学生を対象とした博士前期・後期課程5年一貫制の副専攻プログラムです。2019年度までは、産学官において活躍できる理工系女性博士リーダー育成を目指す文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」として実施していました。

【基盤力を強化】

国際社会で活躍するリーダーを育成するため、基盤力(イノベーション創成科目:数学・物理・情報・化学・生物・工学)の強化を促進しています。さらに、リベラルアーツ・リーダー・キャリア教育の実施を通じて、専門分野に限定されない幅広い知識を身につけていきます。

【グローバル研修の実施】

履修生は各自のPBTSの研究に応じて、国内外の研究機関・企業等での前期課程では3か月、後期課程では6か月程度の学外研修を積むことによりグローバル視点の育成を目指します。



■ 日本文化論プログラム

本学大学院では、大学院修了後に国際的な場で社会貢献を行う人材(留学生を含む)の育成を積極的に推進しています。こうした学生が日本文化と日本の思维方法を理解することは、日本文化理解の適切な国際標準の形成に資するでしょう。さらに、グローバル化に伴う価値一元化傾向に対する批判的視点を積極的に提示し、それを通じて多様な文化の共生を促進する一助となることも期待されます。

■ SHOKUIKUプログラム

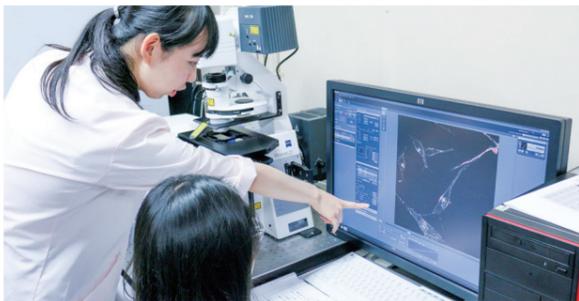
大学院博士課程における文理融合を目指すもので、どの専攻に所属する学生も履修することができます。また、ベーシックコースとアドバンスコースを設け、ベーシックコースは、博士前・後期課程のいずれからでも履修できます。食の学問領域を4部門(食教育、食科学、食環境、食文化)に大別し、教育及び研究を進めることを基本とし、学際的基盤に立った食に関する幅広い専門性と実践力をもつ高度専門家の早期育成を目指します。コース修了者は、「お茶の水女子大学専門食育士」の認定が受けられます。

【PBTS(Project-Based Team Study)を通じたプロジェクト・ワーク】

PBTSは、異なる専門分野をもつ大学院生がチームを作り、自らがテーマを設定し、プロジェクト計画を立てて、課題解決に挑むお茶大オリジナルの新しい学修プログラムです。PBTSでは、異文化・異分野に対応する力、体系的に問題を解決する力、プロジェクトマネジメント力等を習得します。

【産・官・学との連携】

本プログラムでは、企業(III、ニコン、ブリヂストン等)や研究機関(総研大、理研、統数研等)からの協力者を迎え、産・官・学との強い連携のもと、博士人材の社会進出を促進しています。



キャリア副専攻

キャリア副専攻は、博士前期課程修了後に高い専門性を活かすための実践的な就業力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。現代社会は、不確実性が高く、将来の予測が困難であるため、職業生活において求められる知識は高度化・複雑化しています。こうした背景において本副専攻は、高度な専門性を備え、活躍するリーダーの多くが博士前期課程を修了(修士号を取得)しているという世界的な動向を踏まえています。現在、新しいキャリア副専攻として【マスター消費生活アドバイザー】コースの設置を準備中です。「マスター消費生活アドバイザー」は、消費生活アドバイザー資格保持者が「指定大学院」において所定のコースを修了した場合に取得できる、新しく創設された資格です。2020年度中には(一財)日本産業協会から「指定大学院」の認定を受け、2021年度からの開設を目標にしています。

■ キャリア副専攻【教員】

専修免許状を取得し、博士前期課程修了後に学校において教職としてのキャリアを目指す大学院生を対象としています。教育現場で即戦力となるだけでなく、自身も自信をもち、主体的に問題を設定し、その解決に向け、子どもたちや同僚教師と協働し、より良い教育を目指して生涯にわたって学び続けることのできる教師を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。本学の附属学校園や公立学校園と連携した継続的で発展的なインターンシップならびに実践研究を実施することで、教育学や周辺諸科学の理論と教育実践を往還することのできる高度な実践力を身につけることを重視します。

■ キャリア副専攻【公務員】

博士前期課程修了後に国家公務員などの公務員を志す大学院生を対象としています。経済、政策、法制度、英語などの実務的な知識やスキルの習得を通じて、高い専門性を実務に活かす実践力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。公務員として必要な理論・知識の学修を基本とし、その上で選択科目として行政に関連する領域を選択的に学びます。例えば必修選択科目「行政特論」では、憲法、行政法などをはじめとした法律全般を学ぶとともに公務員という仕事への理解を深めます。このようなキャリア副専攻【公務員】での学修を通じて、行政に携わるための幅広い実務的な知識と視点、倫理観を持ち、公の立場として社会に貢献する人材を輩出することを目指しています。

■ キャリア副専攻【産学連携】

博士前期課程修了後の進路として、主に企業等に就職することを考えている大学院生を対象としています。企業、研究機関等、学外ステークホルダーと連携し、科学技術イノベーションに係る人材として不可欠な知的財産、特許、ベンチャー、MTA等について学修するとともに、あらゆるキャリアの基盤となる実践的な能力を身に付けることを目的としたカリキュラムとなっています。様々なステークホルダーとの協働を通じて、女性が、研究者や技術者をはじめ科学技術イノベーションを担う人材として一層活躍できるように、産学官協創によるイノベーション・エコシステムを構築し、社会をリードしていく人材を育成することを目指します。

共通科目

博士課程には専門科目だけではなく、すべての専攻の学生向けに共通科目を設置しています。共通科目は、博士前期課程、後期課程いずれの学生も履修することができます。副専攻プログラム等、専門教育に限らない幅広い範囲の科目が設定されています。特に特色のある科目として以下のキャリア開発特論、グローバル女性リーダー特論が挙げられます。また、英語アカデミック・ライティング、英語アカデミック・プレゼンテーションといった国際的に活躍する研究者にとって必要な英語で論文を書き、発表をするための訓練を行う科目を開講しており、多くの学生が受講しています。各科目はただ講義を受けるだけではなく、自らの研究についての発表を行う等、実践的な内容となっています。

■ キャリア開発特論

「博士人材としての能力開発」を目的として、基礎編、実践編、ロールモデル編、応用編の4シリーズ(各2単位)があります。シリーズすべてを履修する必要はなく、それぞれが必要なシリーズを選択し、能力開発に役立てます。基礎編は、これまでの自分、今の自分、これからの自分について見直し、目指す自分の姿を明確にし、アクションプランを立てるワークショップスタイルの集中講義です。実践編は、産業界で活躍する方たちとの交流の機会を提供し、博士人材としての働き方の理解を深めるとともに、コミュニケーションスキル向上を目指します。ロールモデル編は、博士人材として活躍しているOGや博士人材を積極的に雇用し、活躍を促進している企業の方をゲスト講師としてお招きし、双方向で対話型の講義を行います。応用編では、英語によるプレゼンテーションスキルを磨き、グローバルに活躍するための心構えを学びます。

その他

■ ワークインプログレス ～女性博士人材と企業等との交流イベント～

博士課程およびポスドクを対象としたキャリア形成・就職支援の一環として、博士人材と企業関係者が自由に情報交換を行い、積極的にお互いを知り合える場を提供しています。企業などの研究開発や事業構造、業務の実態について直接伺うことで研究者に求められていることを理解し、将来のキャリアビジョンを考え、アカデミアだけでなく企業での活躍の場を広げるきっかけづくりとなるような充実した支援を提供しています。



女性研究者・女性リーダー育成のために

—さまざまな支援プログラムが用意されています—

◎ 各種奨学基金・助成制度（大学院生対象）

基金の名称	授与対象者	奨学金の額	授与枠
1 桜蔭会研究奨励賞（予約型奨学金）	本学学部を卒業し、引き続き本学大学院博士前期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者	200,000円	20名
2 大学院生（博士後期課程）奨学基金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者	300,000円	10名
3 錦織子サ工奨学基金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者（学内進学者）で、学業、人物ともに優れた者	500,000円	未定
4 高田弘子奨学基金（予約型奨学金）	本学大学院博士前期課程又は博士後期課程に在学する者で、帰国後も研究を継続する意思を持って海外研究留学を行う予定の者	500,000円	前1名・後1名
5 アパナード奨学基金（予約型奨学金）	①本学学部を3月に卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程ライフサイエンス専攻、理学専攻又は生活工学共同専攻に強く進学を志望する者 ②成績、人物とも優秀で、大学院において修学上経済的支援が必要と認められる者 ①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者	500,000円	4名（予定）
6 KSP-SP奨学基金（予約型奨学金）	①マーケティング分野を志す者 ②本学学部を卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程に強く進学を志望する者 ①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者	500,000円	3名
7 創立120周年記念事業国際交流振興基金	海外留学支援事業 本学大学院博士後期課程修了者又は在学学生で、成績優秀かつ将来が嘱望される者のうち海外研修を希望する者	2,000,000円を限度	1～2名
8	アジア女性研究者支援事業 本学学生として留学後、アジアの各地域において研究者又は各界の指導者として活躍し来日研修を希望する者		若干名
9 海外留学特別奨学金	①大学間交流協定に基づく交換留学派遣学生等として留学（1年を限度）し、留学先の大学に留学期間の授業料を納付する者 ②留学期間中、本学の授業料免除の全額免除を受けていない者 ①～②のすべてを満たす者	本学の授業料の年額又は年額の2分の1に相当する額が上限	若干名
10 創立140周年記念海外留学支援奨学基金	本学学生の短期留学（short visit） ①学部生及び大学院生（ただし、留学期間に休学する者を除く。） ②外国の大学、短期大学又は大学院に留学する者 ③グローバル教育センターが募集する短期留学（サマープログラム等）に申請した者 海外の大学間交流協定校からの短期留学（short stay） ①海外の大学間交流協定校に在学し、所属校から推薦された者 ②特に成績優秀な者	50,000円	120名
11 富永ふみ教育基金	本学正規課程の私費外国人留学生で発展途上国の国籍を有し、成績、人物ともに優秀であり、経済的支援を必要とする者	300,000円	1名
12 育児支援奨学金	本学の正規学生で本学が設置する保育所を利用する者	原則、保育料の半額	制限なし
13 保井・黒田奨学基金	自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	30,000円	5名
14 被服学奨学基金	被服学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	制限なし
15 食物学奨学基金	食物学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	若干名
16 家庭経営学奨学基金	家庭経営学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	1～2名
17 大学院研究科奨学基金	本学大学院博士後期課程において研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	1～2名
18 池田摩耶子記念奨学基金	1. 本学大学院において国際的な研究に従事し、成績顕著な者 2. 学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で成績顕著な者	200,000円	若干名
19 池田重記念奨学基金		200,000円	
20 湯浅年子記念特別研究員奨学基金	本学出身者、在学する者又は附属高等学校出身者で、自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	博士前期課程 月額800ユーロ 博士後期課程（一般給費）月額1,100ユーロ 博士後期課程（研究実習給費）月額1,704ユーロ	1名
21 数学奨学基金	本学出身者又は本学大学院博士前期課程及び学部在学する者で、数学の成績顕著な者	100,000円	1名
22 化学科（宮島直美）奨学基金	本学理学部化学科及び大学院に在学する者で、化学の成績等顕著な者	100,000円	前2名・後1名
23 竹村和子海外研修奨学基金	本学大学院に在学する者で、成績顕著な者	1年目2,000,000円 2年目1,000,000円	1名
24 竹村和子奨学基金	本学大学院博士前期課程に在学する者で、成績顕著な者	50,000円	1名
25 菅聡子奨学基金	本学大学院博士後期課程において日本語日本文学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	250,000円	1～2名
26 矢部吉禎・矢部愛子奨学基金	本学学部または大学院に在学する者で、植物学または数学を学ぶ者のうち、学業成績や研究能力が優秀な者	500,000円	植物3名・数学3名
27 自然地理学奨学基金	本学文教育学部人文科学科地理学コース及び大学院に在学する者で、自然地理学関係の研究に従事し、優れた研究が見込める者	国内調査20,000円 又は海外調査40,000円	3名

<入学科・授業料>

□ 入学科 282,000円（予定額）

□ 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）

入学時及び在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用されます。（注）ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコースについては、認定遺伝カウンセラー資格取得に当たって、遺伝カウンセリング実習研修費が別途、必要となります。

研究環境整備

ライフコース支援 …女性のキャリアとライフコースの両立



お茶の水女子大学では、2005年4月1日から、国立大学法人では初めての附属学校部の所属となる学内保育所「いずみナーサリー」を設置しました。保育室には、無垢の木材で作られた温もりのある家具や大型遊具を設け、冬場でも乳幼児が素足で過ごせるよう、床暖房を入れています。また、四季折々に自然豊かな学内へのお散歩や、隣接している附属幼稚園の園庭での外遊びなど、都心にありながら、からだを思いきり動かして遊ぶ屋外環境もあります。女性研究者支援の場であることはもちろん、質の高い保育を行う乳幼児保育施設であり、同時に保育研究を行う場でもあります。なお、本学の正規学生は、いずみナーサリー保育料の半額相当の補助を受けられる「育児支援奨学金」制度を利用することができます。

◎いずみナーサリー
<http://www.fz.ocha.ac.jp/izumi/>



◎いずみナーサリーの概要

定員	1日26名
入所対象児	<年齢>生後6か月～4月1日現在で満3歳未満 <保護者>大学関係者（学生・教職員・その他）
保育時間	月～金 8:30～17:30
利用形態	月ぎめ保育（就労・研究のニーズに合わせた利用日数選択型） 時間預かり保育
保育料	利用日数・方法に合わせた料金設定 （本大学の学部生・大学院生は保育料の半額相当を育児支援奨学金として受けられます）

図書館

図書館は、快適な学習空間と充実したサービスによって、多様な研究スタイルを支援します。

研究スペース

図書館2階奥に「大学院生用研究スペース」、1階にはプレゼンテーションルームなどのセミナーや研究発表のためのスペースを用意しました。また、論文作成に有用なデータベースなどを快適に利用できる環境を整えています。

複写物・図書取り寄せ 無料化

これは、本学が他大学に先駆けて実施した学生への研究支援の一例です。本学に所蔵のない資料の現物や複写物を取り寄せる際、料金が無料となります（図書の返送料を除く）。



人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟

全学共用研究棟には2階にブース式の研究スペースがあり、研究に集中する環境が整備されています。また、1階入り口正面にあるラウンジは、研究の合間に友人とおしゃべりしたり、グループディスカッションを行ったりと広く利用されています。



研究を支援する豊富な機構・研究所・センター

HP <http://www.ocha.ac.jp/attached/index.html>

研究機能強化のための戦略的研究組織

○グローバル女性リーダー育成研究機構

- ・グローバルリーダーシップ研究所
- ・ジェンダー研究所

○ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

- ・ヒューマンライフイノベーション研究所
- ・人間発達教育科学研究所

教育研究を支援するセンター群

○全学教育システム改革推進本部

- ・教学IR・教育開発・学修支援センター
- ・外国語教育センター
- ・リーディング大学院推進センター

○グローバル人材育成・男女共同参画推進本部

- ・学生・キャリア支援センター

・情報基盤センター

- ・共通機器センター
- ・ラジオアイソトープ実験センター
- ・動物実験施設

○研究・医学連携本部

【研究推進部】

<教育研究部門>

- ・ソフトマター教育研究センター
- ・文理融合AI・データサイエンスセンター

<基盤部門>

【社会連携部】

- ・湾岸生物教育研究センター
- ・サイエンス&エデュケーションセンター
- ・ライフワールド・ウォッチセンター

【イノベーション推進部】

- ・リエゾン・URAセンター

○国際本部

- ・国際教育センター
- ・グローバル協力センター

大学院で働きながら学ぶ制度

■ TA 制度

ティーチング・アシスタントは、大学院生を学部及び博士前期課程の講義、実験、実習、演習などのアシスタントとして雇用する制度です。

■ RA 制度

リサーチ・アシスタントは、博士後期課程に在籍する学生を、指導教員の研究アシスタントとして雇用する制度です。

■ プロジェクト研究員

博士後期課程の学生を、研究支援員として雇用する制度です。

本学独自の研究員制度

■ RF 制度

リサーチフェローは、本学での学位取得者（課程博士）を対象に、公募により採用されます。雇用期間は原則として1年間で、研究活動に従事します。

■ 研究院研究員制度

研究院研究員は、本学での学位（博士）取得者すべてを対象に、公募により毎年50人程度採用されます。本学研究員としての所属証明を与えられます。

■ 特別研究員

（みがかずば研究員）制度

優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供します。

小石川寮について

本学から徒歩3分の場所に、全室個室の大学院生（留学生を除く）向けの寮があります。

寮は在寮生同士が自治会を組織して運営しています。例年2月に学生からの申請に基づき、入居許可者を決定します。

なお、外国人留学生向けの寮として、国際学生宿舎（板橋区）が用意されています。

1	収容定員	定員 77名
2	入寮資格	実家から大学まで2時間以上離れていること（新幹線、飛行機は使用しない）なお、実家の家計から独立した生計を営んでいる者は資格あり
3	入寮判定	収入証明書及び住民票などの提出書類を元に総合的に家計を判断し入居の可否を判定する
4	寄宿料	月額4,300円（他に光熱水料及び自治会費等、フロア毎に共益費等の負担あり）
5	居室設備	個室（9.45㎡）：机、椅子、ベッド、クローゼット（小）、吊り棚・エアコン *トイレ、洗面所、お風呂共同 ネット接続は指定業者と別途契約
6	共有施設	談話室（1F）、公衆電話（1F）、洗濯機（各階2台）、乾燥機（各階1台） 風呂（各階 シャワー室 浴室1室ずつ）、補食室（各階 湯沸器、冷蔵庫、テーブルセット完備）
7	自治会	自治会役員（寮長、副寮長、検針、会計、書記、防火防犯、入退寮、自転車）を各寮生が分担している ・任期は半期（前期（6月～11月）、後期（12月～5月））・その他に鍵当番、各フロアの係分担・フロア掃除当番等がある

利用者・経験者の声



みがかずば研究員 利用者

人間文化創成科学研究科
ジェンダー学際研究専攻
ジェンダー論領域
博士後期課程3年
相川 頌子

博士後期課程2年の時に出産し、娘が6カ月の頃からみがかずばナースリーでお世話になっています。ナースリーは施設、教育、そしてご指導くださる先生方と大変恵まれた環境です。子どもたちは、大学内の広場や中庭で、元気いっぱい泥だらけになるまで遊んでいます。研究室前の廊下から中庭が見下ろせるのですが、お友達や先生方と触れ合う娘の姿を見るのは、私の楽しみの一つでもあります。またお茶大の豊かな自然の恵みを感じながら、葉っぱや木の実を拾って工作したりします。先生方は、本当に知識や経験が豊富で、子どもたちを広い心で育ててくださっています。このような信頼できる預け先があるからこそ、安心して学業に専念できるため、本当に感謝しています。

遺伝性疾患を有するお子さんのご両親を支援するための研究に取り組んでいます。本学遺伝カウンセリング領域で学位を取得後、本制度を利用しました。みがかずば研究員となり、子育てと臨床を行いながら、構想していた研究の準備を整えました。その一環で、本制度を対象とした助成を受けて、シンポジウムを企画開催しました。この経験は研究に役立つとともに、自立した研究者としての自信にもつながりました。みがかずば研究員として科研費にも応募し、無事採択されました。本制度で多くの方々からご支援をいただき、研究が進化したことを実感しております。現在は、私大の常勤助教として働いています。今のキャリアは本制度のお陰なので、大変感謝しています。



みがかずば 研究員制度利用者

順天堂大学
臨床遺伝学・ゲノム診療
センター
助教・認定遺伝カウンセラー
渡辺 基子
（在籍期間：2018年4月1日～
2019年9月30日）



社会人入学者

人間文化創成科学研究科
ジェンダー学際研究専攻
ジェンダー論領域
博士後期課程1年
林 美子

30年以上働いた新聞社を早期退職し、2017年にお茶の水女子大学修士課程に入学しました。ジェンダーに関する理解を深めたいという思いが動機です。様々な文献を読み、調査研究を深めることで思考の基盤が築かれていくのを実感しています。大学院のコミュニティも貴重な存在です。予定しなかった博士課程への進学を決めたのも、教授陣や、社会人や留学生を含めた仲間が存在が大きかったです。収入はフリーランスの活動頼みで厳しいのですが、学費の免除制度があるので助かっています。修士2年目に日本学生支援機構の奨学金を利用し、返済の半額免除を受けることができました。仕事をしながらの研究は困難も多いですが、今後の自分の展開が楽しみです。

私は異文化コミュニケーションに興味があり、現在、日タイ母語場面における謝罪行動とその応答の相互行為について研究しています。謝罪場面は日タイの文化と言語による違いがあると考えられるため、両言語の特徴を明らかにすることで、日本語接触場面での円滑なコミュニケーションへの示唆を目指し、最終的にタイにおける日本語教育に貢献したいと考えています。本学では同じ研究分野に関心を持っている様々な国から来た学生が集まっているため、授業で意見交換をすることで、新たな視野をより広めていくと感じています。また、先生方は研究も大学院の生活も手厚く支援して下さるため、積極的に研究が進められると思っています。



留学生入学者

人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻
国際日本学領域
博士後期課程2年
RUNGTANYANITORN
CHANANTORN

※学生の学年は2020年3月現在

国際交流

—お茶の水女子大学から世界につながる教育と研究—

大学院生を対象とした
海外での研究・留学支援

海外での研究活動や協定大学への留学を支援する様々なプログラムや制度があります。

詳細はHP <http://www.ocha.ac.jp/intl/>

派遣プログラム及び助成制度

派遣プログラム

- 大学間交流協定に基づく交換留学
- 海外語学研修（マンチェスター大学、モナシュ大学、カリフォルニア大学リバーサイド校、カリフォルニア大学デービス校、ハル大学 他）
- 協定校主催短期研修（梨花女子大学校バリアドリッド大学、ブッパター大学、トムスク国立教育大学、キャンパスフランス 他）
- 理系学生対象短期研修（セントメアリーズ大学等）
- 海外における日本語教育実習プログラム
- パーグシエ・ブッパター大学研修留学大学院生派遣事業
- 「グローバル女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点形成」事業によるプログラム

- グローバル協力センターによる国際調査
 - ジェンダー研究所による「AIT*—お茶大」学生交換プログラム*Asian Institute of Technology: アジア工科大学院大学
 - 博士課程教育リーディングプログラムによるグローバル研修
- 助成制度**
- 「湯浅年子記念特別研究員奨学基金」による海外派遣
 - 「お茶の水女子大学120周年記念桜蔭会国際交流奨励賞」による海外派遣

上記以外に、交換留学、短期留学等の留学形態や期間別の大学独自の給付型奨学金があります。また、文部科学省、日本学生支援機構、地方自治体及び民間財団等による給付型奨学金もあります。

大学間交流協定締結大学 81校 (2019年12月1日現在)

アジア

- インドネシア国立芸術大学デンパサール校 (インドネシア)
- 韓国芸術総合学校舞踊院 (大韓民国)
- 慶北大学校 (大韓民国)
- 啓明大学校 (大韓民国)
- 建国大学校 (大韓民国)
- 高麗大学校 (大韓民国)
- 淑明女子大学校 (大韓民国)
- 同徳女子大学校 (大韓民国)
- 釜山大学校 (大韓民国)
- 釜山外国語大学校 (大韓民国)
- 梨花女子大学校 (大韓民国)
- アジア工科大学院大学 (タイ)
- タマサート大学 (タイ)
- チェンマイ大学 (タイ)
- プリンズ・オブ・ソククラ大学 (タイ)
- 開南大学 (台湾)
- 国立政治大学 (台湾)
- 国立台北芸術大学 (台湾)
- 国立台湾大学 (台湾)
- 台北医学大学 (台湾)
- 大連外国語学院 (中国)
- 復旦大学歴史学系 (中国)
- 北京外国語大学 (中国)
- 北京大学歴史学系 (中国)
- 国立ハノイ教育大学 (ベトナム)
- ハノイ大学 (ベトナム)
- ベトナム科学技術アカデミー・ゲノム機関 (ベトナム)

中東

- アンカラ大学 (トルコ)
- アルザフラー大学 (イラン・イスラム共和国)

オセアニア

- ニューサウスウェルズ大学 (オーストラリア)
- モナシュ大学 (オーストラリア)
- オタゴ大学 (ニュージーランド)

アフリカ

- カイロ大学 (エジプト)
- マンソウラ大学 (エジプト)

北米

- 南オレゴン大学 (アメリカ)
- カリフォルニア大学サンディエゴ校 (アメリカ)
- カリフォルニア大学デービス校 (アメリカ)
- カリフォルニア大学リバーサイド校 (アメリカ)
- カリフォルニア州立大学フラトン校 (アメリカ)
- ヴァッサー大学 (アメリカ)
- オルブライト大学 (アメリカ)
- セントメアリーズ大学 (アメリカ)
- チャタム大学 (アメリカ)
- ミルズカレッジ (アメリカ)
- マギル大学 (カナダ)

南米

- サンパウロ大学 (ブラジル)

ヨーロッパ

- オックスフォード大学クイーンズコレッジ (イギリス)
- マンチェスター大学 (イギリス)
- ハル大学 (イギリス)
- ロンドン大学キングスカレッジ (イギリス)
- ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院 (イギリス)

- ロンドン大学パークベックカレッジ (イギリス)
- オックスフォード大学リネカーカレッジ (イギリス)*1
- プリマス大学 (イギリス)
- 国立ナポリ大学オリエンターレ (イタリア)
- コッレージョ・ヌオーヴォ (イタリア)
- 'サビエンツァ' ローマ大学 (イタリア)
- ウィーン工科大学 (オーストリア)
- ダーラナ大学 (スウェーデン)
- バリアドリッド大学 (スペイン)
- ブルゴス大学 (スペイン)
- スロバキア工科大学 (スロバキア)
- リュブリャナ大学 (スロベニア)
- カレル大学 (チェコ)
- コペンハーゲン大学 (デンマーク)
- ケルン大学 (ドイツ)
- ブレーメン応用科学大学 (ドイツ)
- パーグシエ・ブッパター大学 (ドイツ)
- ノルウェー科学技術大学 (ノルウェー)
- セントリア先端科学大学 (フィンランド)
- タンペレ大学 (フィンランド)
- ストラスブール大学 (フランス)
- パリ市立工業物理化学高等専門大学 (フランス)
- パリ・ディドク (パリ第7) 大学 (フランス)
- クレルモン・オーベルニュ大学 (フランス)
- ボルドー大学 (フランス)
- ヨーロッパ理工学院パリ・デジタルイノベーション大学院 (フランス)
- ワルシャワ大学 (ポーランド)
- ヴィータウタス・マグナス大学 (リトアニア)
- ブカレスト大学 (ルーマニア)
- トムスク国立教育大学 (ロシア)

*1 学生派遣の協定はありません。

留学経験者の声



官民協働
海外留学支援制度
～トビタテ！留学JAPAN
日本代表プログラム～
10期・交換留学

【留学先】
国立台湾大学
人間文化創成科学研究科
理学専攻
情報科学コース
博士前期課程1年
宮武 陽子

現在、トビタテ！留学JAPAN第10期派遣留学生及び交換留学生として、台湾大学で計算機科学に関する研究をしています。留学の発案当初、研究室配属後半年も経たないのに1年間もの研究留学などできるのかと悩みましたが、若干無茶な計画だったからこそ事前に留学の目的や計画について深く考えることができ、結果現在研究に全力で取り組んでいると感じます。台湾の方々はとても情に厚く、周りの学生は皆、他人との協同作業が得意な印象を受けます。研究をする上でコミュニティ内での協力というものは重要だと思うので、その点で非常に良い環境ですし勉強になると感じます。研究で結果を残すことに加え、留学後の将来の道を決め、台湾の友達と中国語で存分に会話できるようになりたいというのが今の目標です。



官民協働
海外留学支援制度
～トビタテ！留学JAPAN
日本代表プログラム～
10期・研究留学

【留学先】
ウィーン工科大学
人間文化創成科学研究科
理学専攻
情報科学コース
博士前期課程1年
天野 幹子

2019年9月から二か月半、官民協働海外留学制度「トビタテ！留学JAPANプログラム」第10期派遣留学生(理系、複合・融合 人材コース未来テクノロジー人材枠)として、ウィーンで研究留学をしました。私は学部時に2回短期留学をしているのですが、研究留学は今回が初めてでした。語学留学とはまた違った難しさを感じながら、研究と向き合うことのできた良い時間になりました。留学しなければ得られない経験や成長があると感じ、短期ながら留学を繰り返しています。今回利用したトビタテは、一人ひとりの留学計画を尊重し、意欲のある学生をサポートして下さる奨学金です。そのような制度を積極的に活用しながら、是非留学に挑戦してほしいと思います。

*学生の学年は2020年3月現在

音楽×テクノロジーについて、その分野で先進的であるドイツにおいて、テクノロジーの観点から研究を見つめ直したいと思い、留学を決意しました。授業はドイツ語と英語の両方で行われ、課題は重いですが、現地の友達に助けられながら、やりぬいています。日本とは違う倫理観からトラブルが多発し、当初は不安になっていましたが、そのおかげでずいぶんタフになりました。音楽学というマイナーな分野ゆえに、一般的に奨学金の数も少なく金銭面で不安でしたが、「トビタテ！留学JAPANプログラム」の援助を受けて、金銭面で心配することなく勉学に集中できています。お茶大にはトビタテの合格実績があり、サポートも万全なので、留学希望者は、機会を逃すことなく挑戦してほしいと思います。



官民協働
海外留学支援制度
～トビタテ！留学JAPAN
日本代表プログラム～
10期・交換留学

【留学先】
ケルン大学
人間文化創成科学研究科
比較社会文化学専攻
音楽表現学コース
博士前期課程2年
赤坂 奈亜子

オランダのエトレヒト大学で臨床心理学を学びました。「人のこころを癒す」職業が、日本の外でどのような社会的立場で実践・発展しているのか、またグローバルな視点から自分がお茶大で勉強していることを見ることができ、広い世界の中で自分がやっていることの位置付けを確認できました。日本での勉強だけでは得られない知識や視点を学ぶことができました。留学先のクラスメイトはアフリカ、アメリカ、ヨーロッパを含む多様なバックグラウンドの方ばかりで、プログラム終盤には、世界中に知り合いがいる状況になったのが嬉しかったです。授業態度が日本と全く違い、積極的に手をあげて意見を述べ、疑問点を解消していくクラスメイトにつられて、私自身もより積極的な授業態度が身につきました。



短期研修

【留学先】
エトレヒト大学
人間文化創成科学研究科
人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース
博士前期課程1年
矢吹 麻理奈
アレクサンドラ

◎ 前期課程入試要項 実施専攻・コース及び募集人員

○および●印：各入試を実施するコース

専攻	募集人員 (注1)	コース	8月入試 (2020年10月入学・ 2021年4月入学)		9月入試 (2021年4月入学)			2月入試 (2021年4月入学)	
			一般入試 外国人留学生入試	社会人 特別入試	一般入試 外国人留学生 入試	社会人 特別入試	推薦入試	一般入試 外国人留学生 入試	社会人 特別入試
比較社会文化学専攻	60名	日本語日文学コース	/	/	—	—	○	○	—
		アジア言語文化学コース	/	/	—	—	○	○	—
		英語圏・仏語圏言語文化学 コース(英語圏言語文化専修)	/	/	—	—	—	○	—
		英語圏・仏語圏言語文化学 コース(仏語圏言語文化専修)	/	/	—	—	○	○	—
		日本語教育コース	/	/	—	—	—	○	○
		思想文化学コース	/	/	—	—	—	○	—
		歴史文化学コース	/	/	—	—	○	○	—
		生活文化学コース	/	/	—	—	○	○	—
		舞踊・表現行動学コース 音楽表現学コース	/	/	—	—	—	○	—
人間発達科学専攻	27名	教育科学コース	/	/	—	—	—	○	—
		心理学コース	/	/	—	—	○	○	—
		発達臨床心理学コース	/	/	—	—	—	○	—
		応用社会学コース	/	/	—	—	—	○	—
		保育・児童学コース	/	/	○	○	○	○	○
ジェンダー 社会科学専攻	18名		/	/	○	○	—	○	
ライフサイエンス 専攻	40名	生命科学コース	●(注2)	—	/	/	/	○	—
		食品栄養科学コース	●(注2)	—	/	/	/	○	—
		遺伝カウンセリングコース	○	—	/	/	/	△(注3)	—
理学専攻	70名	数学コース	●(注2)	●(注2)	/	/	/	○	○
		物理学コース	●(注2)	—	/	/	/	○	—
		化学・生物化学コース	●(注2)	—	/	/	/	○	—
		情報科学コース	●(注2)	●(注2)	/	/	/	○	○

	8月入試	9月入試	2月入試
出願期間(注4)	2020年7月20日(月) ～22日(水)【必着】	2020年7月27日(月) ～7月29日(水)【必着】	2020年12月17日(木) ～22日(火)【必着】
試験期日(注5)	2020年8月20日(木)・21日(金)	2020年9月6日(日)・7日(月)	2021年2月3日(水)・4日(木)
合格発表日	2020年8月28日(金)正午	2020年9月11日(金)正午	2021年2月12日(金)17時

(注1) 募集人員は、8月・9月・2月実施の全コース及び全入試区分を含めた人数である。
 (注2) 一覽で●のついたコース・入試区分についてのみ、10月入学を希望できる。
 ただし、10月入学の場合は、2020年度の専攻・コースに所属し、2020年度の授業科目を履修することになること、また、2020年度の専攻・コースの担当教員から志望教員を選ぶことになるので、注意すること。
 (注3) 「遺伝カウンセリングコース」の2月入試は、8月入試で定員が充足された場合、実施しない。2月入試の実施の有無は、11月30日(月)までに本学南門掲示板及びホームページ(<http://www.ao.ocha.ac.jp/>)上で通知する。
 (注4) 出願要件によっては、個別の資格審査出願期間がある。詳細は、必ず学生募集要項を確認すること。
 (注5) 専攻・コースによって日程(時間割)は異なる。詳細は学生募集要項を確認すること。

◎ 後期課程入試要項 実施専攻・領域及び募集人員

○印：各入試を実施する専攻

専攻	領域	募集人員 (注1)	9月入試	3月入試
比較社会文化学専攻	国際日文学領域、言語文化論領域、比較社会論領域、表象芸術論領域	27名	—	○
人間発達科学専攻	教育科学領域、心理学領域、発達臨床心理学領域、社会学・社会政策領域、保育・児童学領域	14名	—	○
ジェンダー学際研究専攻	ジェンダー論領域	4名	—	○
ライフサイエンス専攻	生命科学領域、食品栄養科学領域、遺伝カウンセリング領域	13名	○	○
理学専攻	数学領域、物理学領域、化学・生物化学領域、情報科学領域	13名	○	○

	9月入試	3月入試
出願期間(注2)	2020年7月27日(月)～7月29日(水)【必着】	2021年1月5日(火)～8日(金)【必着】
試験期日(注3)	2020年9月7日(月)	2021年3月3日(水)・4日(木)
合格発表日	2020年9月11日(金)正午	2021年3月10日(水)17時

(注1) 募集人員には、一般入試以外の進学者選考の募集人員を含む。
 (注2) 出願要件によっては、個別の資格審査出願期間がある。詳細は、必ず学生募集要項を確認すること。
 (注3) 選考方法の詳細は学生募集要項を確認すること。

◎ 生活工学共同専攻入試要項 実施課程(2020年10月入学・2021年4月入学)及び募集人員

専攻	募集人員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生活工学共同専攻(前期課程)	7名(注1)	○	○	○
生活工学共同専攻(後期課程)	2名(注1)	○	○	○

	夏季実施入試 (博士前期課程・博士後期課程 共通) (注2)	冬季実施入試 (博士前期課程・博士後期課程 共通)
出願期間(注3)	2020年7月20日(月)～22日(水)【必着】	2020年12月17日(木)～22日(火)【必着】(注5)
試験期日(東京会場)(注4)	2020年8月21日(金)	2021年2月3日(水)
合格発表日(東京会場)(注4)	2020年8月28日(金)正午	2021年2月12日(金)17時
試験期日(奈良会場)	2020年8月19日(水)	2020年12月12日(土)
合格発表日(奈良会場)	2020年8月28日(金)正午	2020年12月18日(金)正午

(注1) 募集人員は、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を合わせてお茶の水女子大学、奈良女子大学、各大学7名(前期課程)又は2名(後期課程)とする。秋季(10月)入学の募集人員は、その中の若干名とする。
 (注2) 10月入学を希望できるのは、夏季実施入試のみである。
 (注3) 出願要件によっては、個別の資格審査出願期間がある。詳細は、必ず学生募集要項を確認すること。
 (注4) お茶の水女子大学に在籍を希望する学生は、東京会場でのみ受験できる。
 (注5) 東京会場のみ出願期間である。奈良会場の出願期間は2020年11月9日(月)～11日(水)【必着】

トランスジェンダー学生受入れについて

HP <http://www.ao.ocha.ac.jp/menu/001/040/d006117.html>

本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する人を2020年度の入学者から受入れております。戸籍(又はパスポート)の性別と性自認が異なっている方については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、事前にご相談ください。事前申出の詳細は、各学生募集要項をご覧ください。

学生募集要項等の請求について

大学院への進学をお考えの方は、必ず、学生募集要項を取り寄せ、詳細をご確認ください。また、社会情勢等により、試験期日が急きよ変更になる可能性もあります。変更があった場合は、ホームページで通知いたしますので、最新情報を確認してください。

配布時期

博士前期課程学生募集要項(願書)	6月下旬
博士後期課程学生募集要項(学外者用 願書)	
博士後期課程学生募集要項(学内進学者用 願書)	
生活工学共同専攻学生募集要項(前期課程・後期課程共通 願書)	5月下旬

請求方法

(1) 大学のホームページから請求する場合

大学のホームページからテレメールを利用して学生募集要項(願書付き)の資料が請求できます。

詳しくは入試課ホームページをご覧ください。 <http://www.ao.ocha.ac.jp/application/howto/index.html>

(2) インターネット(パソコン・スマートフォン)または自動音声応答電話で請求する場合

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

- ・インターネット(パソコン・スマートフォン)の場合
<https://telemail.jp> (パソコン・スマートフォン各社共通)
- ・自動音声応答電話の場合 IP電話: 050-8601-0101 (24時間受付)
 IP電話への通話料金は一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

② お茶の水女子大学資料請求番号(6桁)を入力してください。

資料名	資料請求番号	発送開始時期
博士前期課程学生募集要項(願書)	563120	6月下旬(予定)
博士後期課程学生募集要項(学外者用 願書)	542340	6月下旬(予定)
生活工学共同専攻学生募集要項(前期課程・後期課程共通 願書)	600020	5月下旬(予定)

(注) 料金は請求時に確認してください。

③ 操作方法については、ガイドンスに従ってください。

※ (1)、(2) いずれの場合も、請求方法についての不明点は、テレメールカスタマーセンターにお問い合わせください。

tel: 050-8601-0102 (9:30～18:00 受付)